

訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業 事業評価(一次評価)
(訪日外国人旅行者受入基盤整備事業)
(訪日外国人旅行者受入加速化事業)

平成 年 月 日

補助対象事業者名: (株)〇〇鉄道

評価対象事業名: 交通サービス利便向上促進事業

①事業概要	②前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	③事業実施の適切性	④事業実施によるインバウンド受入環境への効果	⑤事業の今後の改善点等(特記事項を含む)
〇〇駅において案内標識(〇箇所)の多言語化を実施する。	従来の案内標識と比べ、文字の大きさ等を工夫し、より見やすい表示とした。	A 計画通り事業は適切に実施された。	訪日外国人旅行者が目的とする方向・施設へ、ストレスなく、スムーズに移動することが可能となった。	今般整備した箇所以外の他施設との案内表現の統一や、記載言語の追加等を進める必要がある。
〇〇において〇〇を実施する。	～～。	B ～～のため、事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。	～～。	～～。
〇〇において〇〇を実施する。	～～。	C ～～のため、事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった。	～～。	～～。
※複数の設備等を包括して個別リストに記載されている場合は、当該複数設備等を包括的に記載することが可能。	※前回(又は類似事業)の事業評価結果をどのように反映させた上で事業を実施したのかを記載する。	※事業が適切に実施されたかを、A,B,Cの3段階で評価する。計画どおり実施されなかった場合には、理由等を明らかにする。	※事業を実施したことにより、インバウンド受入環境へ具体的にどのような効果があったのか記載する。	※「事業実施の適切性」において、「B」「C」となった項目を中心に、そのようになった要因を分析し、事業の今後の改善点等を記載する。
※補助対象事業者が複数事業を実施している場合には、交付決定の通知があった地方運輸局等毎に当該事業者分をまとめて記載する。				

※③には、次の指標のうちのいずれかを記載

A・・・計画通り事業は適切に実施された。

B・・・事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。

C・・・事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった。